



礼文島地域医療研修

千葉県立病院群初期研修医
小林沙織

礼文島について

- 日本最北端の島
- 稚内からフェリーで約2時間
- 人口約3200人
- 主な産業は漁業・観光(国立公園)
 - ウニ漁・コンブ漁の最盛期
 - 海の状態で患者数が変化
 - 高山植物が豊富
 - 観光客も来院
- エキノコッカス発祥の地



レブンアツモリソウ

あつもん
です！

船泊診療所について

- 島内唯一の有床診療所
- H14に竣工(19床)
- 年間患者数延べ22000人(平均89名/日)
- スタッフ
 - 医師2名、放射線技師1名、臨床工学士1名、看護師14名、理学療法士1名、事務7名
- 設備
 - エコー・内視鏡・レントゲン・CT・MRI
- 人工透析7例
- ドクターカー



診察室





レントゲン室



手術室



血沈台

技師さんが不在
の時は医師がとります

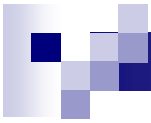


一週間の流れ



	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来	外来	外来	外来	外来	病棟	病棟
午後	外来/ 病棟	礼宝園 介護認定 審査会 (2回/月)	外来/ 病棟 健診 など	訪問診療	遠隔診療 (2回/月) 眼科 (1回/月)		





介護認定審査会



眼科診療





乳幼児健診

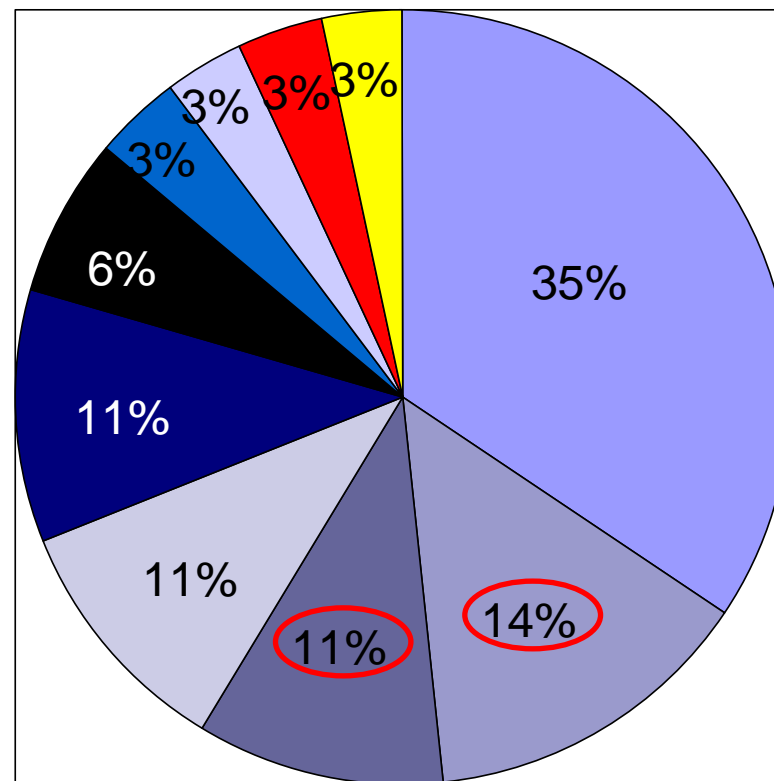


礼文高校の健康診断



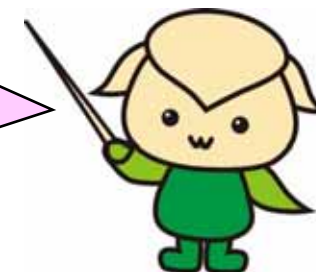
外来の内訳

科	件数	割合
整形(腰椎圧迫骨折、関節痛)	10	35
循環器(高血圧)	4	14
代謝・内分泌(糖尿病、高脂血症)	3	11
小児(上気道炎)	3	11
呼吸器(上気道炎)	3	11
皮膚(湿疹、帯状疱疹)	2	6
耳鼻(アレルギー性鼻炎)	1	3
神経(パーキンソン)	1	3
泌尿器(前立腺肥大)	1	3
消化器(腫瘍マーカー高値)	1	3
計	29	100



- ・あらゆる疾患に対応できないといけない
- ・基本的診察の重要性
- ・生活習慣病の重要性

多岐に
わたっているね



入院患者の状況



- 70F 脳梗塞、Af
- 65F うつ病、甲状腺種
- 80M 腰椎圧迫骨折
- 80F Wallenberg
症候群
- 79M 外ソケイヘルニア
- 94F 慢性心不全、脱水症
- 80M 脳梗塞、Af
- 73M 前立腺癌骨転移
- 88F 大腿骨頸部骨折術後
誤嚥性肺炎(MRSA+)
- 75M 多発性脳梗塞
- 72M 脳梗塞後遺症、褥創
経鼻胃管栄養
- 73M レビー小体病、PEG
- 80M SAH、PEG
- 71M 肺癌、肺炎



訪問診療

- 月に13件(毎週木曜日午後から)
- 通院困難な患者
- 訪問看護は行っていない
- 月1回在宅療養患者の情報交換会議



他職種との連携が
重要です



訪問診療

■ ある日の内訳

- 83M 脳梗塞後遺症、HCV、膀胱癌、直腸癌、肺転移術後(永久膀胱ろう、ストマ)
- 77M 膀胱癌術後、AS、大腿骨頸部骨折後
- 81M OMI、COPD、HOT
- 81F HBV、HCC術後、COPD
- 100F(島内初) 慢性心不全、慢性腎不全



精神科遠隔診療

- 平成13年より開始
- ISDNの3回線、光ファイバーは未開通
- 月に10人前後(第2,4金曜日)
- 処方箋は郵送、診療費は振り込み
- 通院困難な患者の利便をはかる
- ある日の内訳
 - 44F うつ病
 - 63F 統合失調症
 - 55M 統合失調症
 - 35M 統合失調症

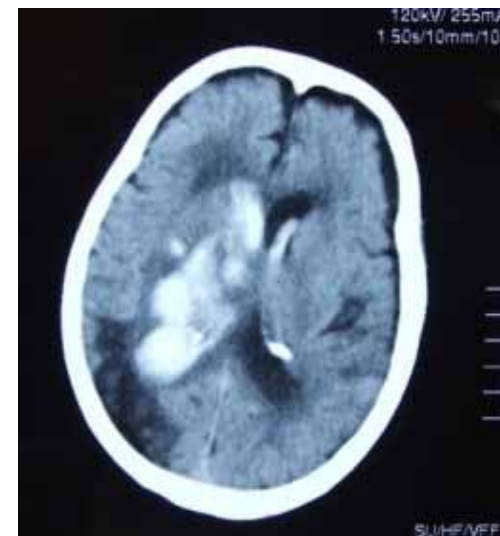


治療の中断の
防止になります



イベント

- 訪問診療中の脳梗塞後遺症の85歳女性
- バイアスピリン内服中
- 夫より台所で倒れていると連絡
- ドクターカーにて収容
- CTにて脳出血の診断
- 保存的治療



右視床出血・
脳室穿破
の像です



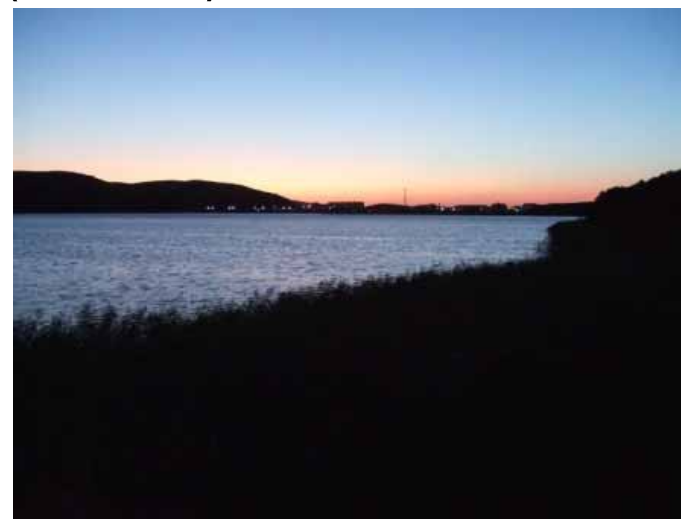
イベント

- 岬で身元不明の男性水死体発見
- 解剖の結果、死因は溺死
- 第一管区海上保安本部の警備艇にて稚内へ搬送
- DNA鑑定で身元判明
- 山中でも同様の身元不明女性遺体発見
- 衰弱しており死因は肺炎
- 海での事故死も多い

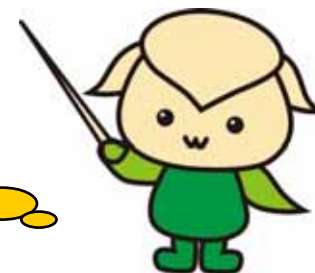


イベント

- 大腿骨頸部骨折術後、誤嚥性肺炎(MRSA)の88歳女性
 - 慢性腎不全の79歳男性
- 2例で遺体の処置を経験



「おくりびと」
みたいでした



升田先生より

この島には病院が2つしかない。
なので、患者さんの愁訴に真摯
に向き合うことが大切です。



イベント番外編



昆布



「利尻昆布」は、
ウニを食べて
育ちます。



ウニ



一生分食べました



まとめ



- 北海道礼文島で地域医療研修を行った。
- プライマリ・ケアの重要性を認識した。
 - あらゆる疾患に対応できる知識と技術
 - 生活習慣病の予防、管理
 - 患者さんの愁訴に真摯に対応する診療
- 医師と他職種との連携の重要性を認識した。
- 貴重な経験ができ、非常に有意義な研修であった。



ご清聴どうもありがとうございました

